



5月13日は「高い山の日」 白鷹山夏山開き

5月13日、今年も白鷹山の山頂で白鷹山夏山開き（白鷹山虚空蔵尊祭礼）が行われ、白鷹町や山辺町、南陽市などから多くの登山者が集まりました。

夏山開き宣言では、横澤副町長が「山の名を背負っている町内出身の力士、白鷹山（はくようざん）の応援もよろしくお願ひしたい」とあいさつ。その後に行われた「しらたか山ヤングサミット」では、鷹山小学校との統合後、初めての参加となる荒砥小学校の5年生約40人が、作谷沢小学校（山辺町）と萩小学校（南陽市）の児童たちと名刺交換などで交流しました。荒砥小学校の打田蓮さんは「この場所で初めて会ったみんなと、これからも仲良くしていきたい」と話し、この日の出会いを喜びました。



食と命と感謝の気持ちを学ぶ 田んぼの学校で田植え体験

鮎貝小学校の田植え体験が5月18日、サンファームしらたか前の田んぼで行われました。

これは、町土地改良区が主催する「田んぼの学校」の事業の1つで、この日は5年生25人が参加。田んぼの生き物に触れ合いながら、泥だらけになって田植えを楽しんだ児童たちは「難しかったけど楽しくできた」「家でおじいちゃんの田植えを手伝いたかった」とそれぞれに感想を述べました。

田植えの後には、サンファームしらたかのお米で作ったおにぎりと、地元の食材で作った山菜汁が用意され、児童たちは地域の恵みに感謝しながらおいしく味わいました。



大きく、たくましく育てほしい よつばこども園に5匹のこいのぼり

よつばこども園の園庭の上空を雄大に泳ぐこいのぼり。4月13日、「こいのぼりのように大きく、たくましく育てほしい」と、荒砥在住の大滝いせさんから5匹のこいのぼりが寄付されました。園児たちは自分の体より何倍も大きいこいのぼりを協力して運び、空高く上がった姿を見て歓声をあげていました。